

求道の歩み集大成

配本スタート

真宗大谷派の教学者で、同派教学研究所所長を務めた著者の選集全12巻の配本が、今年10月から始まった。

編纂に当たっては、論説や講話録など千編を超える著述から、著者が示した「念佛の感覚」「念佛の思想」「念佛者の生活」「親鸞聖人に遇つ」の四つの柱を指針に厳選し、著述年代を考慮してまとめた。

このたび配本された第1巻『いのちを喚ぶ声—親鸞の宗教—』と第2巻『念佛が開く歴史と社会』は、青年期から1980年以前の著述を収載。この2冊は、四つの柱では「念佛の感覚」に当たる。

今後刊行される第3～5巻は80年代以降の著述を中心に、第6、7巻は90年代から最新成果まで、第8～12巻は約20年にわたって説かれた『歎異抄』の講話をを中心に収載する。

初期の代表的な論説から講話録まで、選集は求道の歩みの集大成といえそうだ。

配本は2019年11月まで続き、現在、全巻購入のみ予約を受け付けている。18年12月末までに予約すると割引のある特別価格（12巻・税別4万円）が適用される。

分売は19年6月からの開始を予定している。詳細は、法藏館内にある刊行委員会事務局へ。

体裁は各巻A5判、上製貼函入り。

本体価格は各巻4000円、法藏館（電話075・343・0458）刊。

児玉暁洋選集①

児玉暁洋選集刊行委員会編

いのちを喚ぶ声

—親鸞の宗教—

いのちを喚ぶ声—親鸞の宗教—

児玉暁洋選集①

法藏館